



真名子小だより 2月号

えが お

教育目標
進んで学ぶ子
思いやりのある子
笑顔はじける元気な子

2月 
令和2年 2月 17日
発行者 布川嘉英

先月は平年の平均気温を3℃も上回る、観測史上最高を記録する温暖な1月でした。このまま行くと、卒業式前に桜が咲き終えてしまうのではと心配になるほどです。

今年度もいよいよ大詰め。子どもたちは進学、進級に向けてみんな元気に頑張っています。

西方中から奥山先生に来ていただきました

3学期が始まって間もなくの1月10日、西方中より奥山先生にお越しいただき、4～6年生の各学級で社会科の授業をしていただきました。これは小中学校連携の取り組みで、教員の研修のためでもあります。中学校の先生はみんな専門教科を担当し、造詣が深く、興味深い授業をしてくれます。



6年生は中学校への進学に、ちょっと楽しみが増えたのではないのでしょうか。

租税教室(6年生) 1月21日

県税事務所から2人の職員さんが訪れ、税金に関する話を伺いました。当たり前と思っている私たちの暮らしは、税無くしては成り立ちません。大人になったとき、税を納めるとともに、その使われ方を知っていることはとても大切なことです。



新通学班編成 1月27日

新年度の新しい通学班を決めました。いよいよ6年生が退いて、現5年生、4年生たちが班長、副班長を担います。7名の新入生も加わります。この編成会議でも既に自覚十分で頼もしいです。しっかり下級生の面倒を見てあげてください。



どんど焼き 1月25日



春を思わせる穏やかな天候のもと、西方町の名物イベントのひとつ『どんど焼き』が行われました。前日には、夢ホールで繭玉づくりが行われ、学童保育の子どもたちが活躍しました。オープニングの6年生による中学校での抱負発表には、平向弘汰さん、石川夏南さんが堂々と発表しました。点火と同時に勢いよく燃え上がる櫓と共に、江戸一番隊の皆さんが勇壮に太鼓の演奏を繰り広げました。その一員として1年生の飯田一之助さんが参加していました。町外からも多くの人が集まり、賑やかで素晴らしい炎の祭典でした。

箏・尺八教室(5・6年生)

1月28日

石林先生、増淵先生においでいただき、5・6年生にお箏、尺八の体験授業を行いました。どちらも、なかなか生の音を聴く機会はありません。先生方の演奏を聴かせていただいた後、子どもたちも実際に体験させていただきました。



児童の感想

私はお箏を初めて弾き、きれいな音が出たのでうれしかったです。また、尺八では音が出せて、私にもできると思いました。お箏も尺八もまたやりたいと思いました。(小出華稟)

お箏、尺八の演奏を聴いて、きれいな音が出るのがすごいと思いました。私たちは卒業してしましますが、来年もぜひ、真名子小でお箏・尺八教室をやってほしいです。(中村優奈)

プログラミング学習(5・6年生)

1月29日

栃木工業高校の山野井先生率いる情報技術科の生徒の皆さんが、コンピュータ・プログラミングの体験授業を実施しました。BASIC言語を使ってプログラムを作り、栃工で開発されたスカイベリージャムと呼ばれる端末(一種のロボット)を操作します。LEDを点滅させたり、車両の動きを制御したりすることができます。子どもたちが試行錯誤しながらプログラムを作成しているところに、高校生達が上手にアドバイスしてくれました。



児童の感想

車をプログラミングで動かすことが楽しかったです。自分の指示で動かさせて「すごいなあ」と思いました。車以外もプログラミングしてみたいです。来年もやりたいです。(中村華純)

数字やアルファベットに気をつけて、プログラミングをしました。その命令どおりに車を動かすことができ、とても楽しくて、またやってみたいと思いました。(渡邊真衣)

福祉学習・車いす体験(4年生)

1月30日

社会福祉協議会の方々のお世話になり、4年生の総合的な学習の時間に「車いす体験」を行いました。車いすを利用する人の気持ちや困り感は体験してみないと分かりません。今回の学習から、車いすを利用する人たちに、子どもたちは何ができるかを考えていきます。



児童の感想

私は車いすに初めて乗ったとき、とてもこわくなりました。車いすを利用する人を怖がらせないように、声をかけるのが大切だと分かりました。(小幡さら)

一人で車いすを動かすのは楽しかったですが、段差のときはこわかったです。自己紹介や相手を思いやる気持ちが大切だということが分かりました。(石川夢夏)

地域の皆さん、外部講師の皆さんのご協力により、とても充実した教育活動が展開できています。